

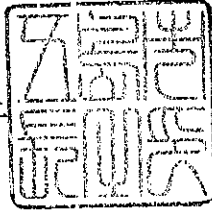


平成19年5月8日

国土交通省

道路局長様

長崎県五島市長 中尾郁子



道路特定財源の見直しに関する中期的な
計画の作成に当たっての市町村長の意見について

標記の件につきましては、別紙のとおり意見を提出いたしますの
で、よろしくお願いいたします。

国土交通省・道路局長 様

長崎県五島市長 中 尾 郁 子

道路特定財源の見直しに関する中期的な
計画の作成に当たっての市町村長の意見について

① 海岸線管理のための道路整備について

五島市は、九州最西端に位置し、我が国の西の玄関口「長崎港」から、さらに西へ100キロメートルの東シナ海に浮かぶ五島列島最南部で、11有人島と52の無人島から構成される国境の離島市であります。

面積は420.77平方キロメートル、海岸線の長さは537.8キロメートルとなっております。

上記のように他自治体と比べ海岸線が非常に長い地形にありますが、海を含め、この海岸保全も自治体の果たすべき役割と考えております。

平成18年7月12日、中国大陸から漂着した大量の流木の処理に当たっては、海岸線に道路がなく、処理作業に大変な困難を極めました。

また、当市は恒常的に発生している台風の通過地点であります。その折、外国漁船の避難港として指定されており、その監視、緊急対応などにも苦慮しているところであります。

以上のように、国土保全の観点、また、当市が国境の島であるという国土防衛の観点から海岸線管理のための道路整備をお願いいたします。

② 生活道路の整備について

島の特徴として、集落間の山の峰々の間を道路が通っているため、土砂崩れなど、大雨が降るたびに被害が出る頻度が高い状況にあります。

迂回路もなく災害が一たび発生すると、生活インフラが遮断されるため、島の特徴を配慮した生活道路整備を切にお願いいたします。

③ 高齢者に配慮した道路整備について

当市の高齢化率は30.90%となり、高齢者が多く、子弟、兄弟も島外で生活している家庭が多いため、高齢者のみの世帯、独居世帯の方々が自立した日常生活を送っております。

このような方々に対応する行政サービスとして、例えば、デイサービスの送

迎車等の運行可能な道路整備など、バリアフリーに考慮した、医療、福祉面に即対応できる道路整備をお願いいたします。

④ 交流人口増加のための道路整備について

離島における定住人口の増加が望めない時代に、当市の総合計画では、五島出身者や五島の海を愛する人などを「五島市心のふるさと市民」として登録する事業に取り組んでおります。

この事業は、五島市に来島される方にレンタカーや宿泊所の割引などの様々な特典を用意し、定住人口（45,000人）+交流人口（55,000人）で10万人都市を目指そうというもので、交流人口を拡大し、五島市の活性化を図るための事業であり、都市部との格差を少しでも是正する政策として取り組んでおります。

来島された方々に、五島の手つかずの美しい自然に触れていただくことができる観光道路の整備をお願いいたします。

⑤ 各省庁が管理する道路を網羅した総合的な道路整備について

当市の基幹産業は、第1次産業である農業・漁業が中心であります。前述したように高齢化が進行し、後継者不足も懸念されているところであります。

そこで、各耕作地、各漁港からの出荷体制軽減のための道路整備が必要と考えております。

このほか、当市管内には県道、国道を初め、農道、臨海道路など、各省庁が管理する道路が存在し、それぞれの採択基準によって、事業が進められておりますが、事業採択に当たっては、費用対効果など、かなり厳しい採択基準が設けられ、思うように事業着手ができない場合も見受けられます。

市が道路に関する計画を立てた場合、地域の特殊性やバリアフリーに向けた道路の整備、国防上の問題などを考慮するなど、一定の基準をクリアすることにより、各省庁が管理する道路を網羅した形で、市町村に主体性を持たせ、自由に使える道路財源の確保に向け、特段の配慮をお願いいたします。